

スマートフォン充電端子接続部の発熱に気をつけて！

平成29年のスマートフォンの世帯保有率は75%を超え、パソコンの世帯保有率を超えました※。
スマートフォンはさまざまな機能を使うことができ、便利な一方で、東京都消費生活総合センターには、「夜間に枕元で充電中に発熱。差し込み口が溶けて変形し、異臭がした。」「シーツの上にスマホを置いて寝ていたらスマホから煙が出て部屋に充満し、シーツが焦げていた。」など、端子接続部の発熱に関する相談が寄せられています。

※《平成30年版情報通信白書》総務省より

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd252110.html>



東京都消費生活総合センターでの調査結果&事故予防のアドバイス

※端末等の特定を防ぐため、写真の一部を加工しています。

寝ながらスマートフォンをベッドの上で充電していたら、充電端子接続部の周囲が溶け、充電ができなくなりました。故障した原因と、気を付けるポイントを教えてください。



充電端子接続部をアップ



充電端子接続部周辺の樹脂が溶けている様子



端子を外した様子

スマートフォンを壊したシューマ



東京都消費生活総合センターの調査担当者

スマートフォンを調査したところ、上から力が加わったことによるショートが故障の原因と考えられます。

就寝中、ベッドや布団にスマートフォンを置いておくと、頭や手の下敷きになることで端子接続部に過度な力が加わり、ショートすることがあります。端子接続部に無理な力が加わる恐れのある使い方はしないようにしましょう。

⚠️ 事故を防ぐポイント※

○充電端子の取り扱いに注意しましょう

充電端子を斜めに抜き差ししたり、接続した状態で上下左右に無理な力を加えると、端子内の接点が変形したり破損する可能性があります。場合によってはショートしたような状態となって、発熱や焼損の原因となります。

○異常を感じた場合は直ちに充電を中止しましょう

充電端子は小さいため、端子内の異常を確認することが難しい場合があります。充電端子に破損や変形のないよう、日頃から取り扱いに注意し、充電時に充電端子が異常に熱くなったり、異臭がする、充電できないなど異常を感じた場合には、直ちに充電を中止しましょう。

※《スマートフォンの充電端子の焼損や本体の発熱に注意》独立行政法人国民生活センター（平成26年2月）より http://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20140220_1.pdf



その他の危害危険情報はこちら。

東京くらしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kigai.html>



問合せ先 生活文化局消費生活部生活安全課
電話 03-5388-3055